



つばさ

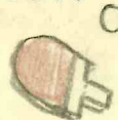
多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 9月 29日
つばさだより 第7号

「中学校体験・中学ってどんな所だろう・6年生の小学校生活はあと半年」

9月17日(水)に中学校体験があり、6年生が参加してきました。事前に小集団指導の中でも少し紹介をしてきましたが、実際に体験する中で6年生たちも自分なりに感じるものがあったようです。当日は体育館で、聖ヶ丘中の紹介動画を見た後、事前に取り決めた体験授業への参加としました。中学校の教室は中学生サイズの机と椅子が並び、各教科(数学・社会・国語・技術・体育)の先生方が丁寧に学習を進めていました。子供たちは中学校という場や先生の指示に緊張した表情でしたが、指示の内容や、自発的に取り組む学習課題への雰囲気はやはり中学校。その感覚を感じ取って集中して取り組んでいました。体験授業の後は部活動の見学です。案内には中学生の代表が担当に付き、各部活を案内してくれました。時折すれ違う中学生からは「先生お久しぶりです!」等の声も聞こえてきます。小学校を卒業して数年での中学生の成長を強く感じました。体育系から文化系の部活を一通り見学していく中、自分なりのイメージも少しずつ具体的になってきた子もいたようです。小学校での振り返りでは「すごく楽しかった!」「絶対〇〇部に入りたい」という感想が聞かれました。

6年生にとって半年先の中学校生活はまだまだ具体的にない部分もあると思います。ただ「あと5か月ちょっとしかないのかあ…」という感想も聞かれ、彼らなりに思いがあるのだと感じました。

中学進学に際しては、学習の難易度が上がることや自己責任の範囲が大きくなる学校生活など、ご家庭を含め子供たちも身構えてしまうことも少なからずあると思います。ただ、今年も去年の卒業生たちの成長している姿を見ることができました。個々には色々苦勞のある日々もあるかもしれませんが、そうした卒業生の姿に勇気をもらえた時間でもありました。6年生の小学校生活はあと半年。小学校での生活を自分なりに満喫しながら自分の進路へのイメージをさらに具体的にしていきます。



「得意な人も苦手な人も…さあ運動会シーズン到来」

10月に入り、運動会シーズンに突入しました。各学年で徒競走用の計測や学年演目、種目への準備が進んでいきます。運動会については毎年同じように「得意・苦手」「好き・嫌い」等子供たちのモチベーションも大きく関係してくる行事の一つです。小集団指導の中でも「トーク」の話題にし、子供たちがそれぞれに思うこと、感じるところをお互いに共有しながら進めていきます。また同時に、運動会時程に入り、学校全体がいつもと違う雰囲気になり、そうした変化を敏感に感じ取る子もいます。子供たちには疲労や感覚への変化があることの見通しをもたせつつ、自分が何かネガティブな状態を感じられたときには「相談」することを指導していく時期にもなります。ご家庭においても、何かお子様の心身のコンディションで気になることがありましたつばさ教室までお気軽に声をおかけください。

お知らせ

来年度の「特別支援教室・継続意向確認書」を対象の方(6年生以下・年度途中入室を除く児童)に配布いたします。内容を確認の上、つばさ教室までご返信ください。